横浜グリーンエクスポにおける
グリーンテックプロジェクトについて

令和８年10月21日

国土交通省 都市局

横浜グリーンエクスポ（2027年国際園芸博覧会）概要

位置付け

- **最上位**の国際園芸博覧会（A1）
  ※ A1は、我が国では1990年の国際花と緑の博覧会（大阪市）以来、37年ぶり
- 国際博覧会**条約に基づく国際博覧会**（認定博）
  ※ AIPH（国際園芸家協会）承認＋BIE（博覧会国際事務局）認定

テーマ・開催意義・キーワード

- テーマ：「**幸せを創る明日の風景**」
- **地球課題の解決にチャレンジ**し、**新たなグリーン社会の姿を世界に発信**

1都3県で初の万博	**主な来場ターゲット 5千万人**（会場３時間圏）	**70程度**を上回る国・国際機関が参加	
ポストSDGsの価値発信	**16のテーマ型企業出展**	**全国から391の花緑出展**	**1千万株の花緑**

正式略称：GREEN×EXPO 2027（グリーンエクスポ　ニーゼロニーナナ）
開催場所：**神奈川県横浜市**（旧上瀬谷通信施設の一部）
開催期間：2027年3月19日～9月26日（192日間）
有料来場者数：**1,000万人以上**
開催者　：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
（会長：筒井 義信＜経団連会長＞）

事業費

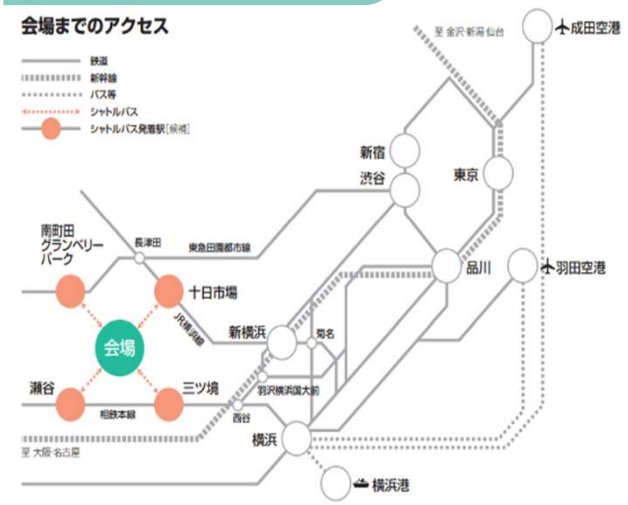
会場建設費：最大**417億円**
運　営　費：　**536億円**

入場券価格

以下に加えて、通期パス、夏パス、夜間券などを用意

大人・1日券　**5,500円**（前売チケット　4,900円）
小人・1日券　1,500円（前売チケット　1,400円）　※税込み
※**9/18**から来場日時予約を開始。

会場位置図



近傍４駅より**シャトルバス**アクセス(約10~20分)
会場隣接駐車場、パークアンドライド駐車場あり

公式マスコットキャラクター

トゥンクトゥンク



「人と地球の自然との新たな関係を育むコミュニケーター」として機運醸成に活躍

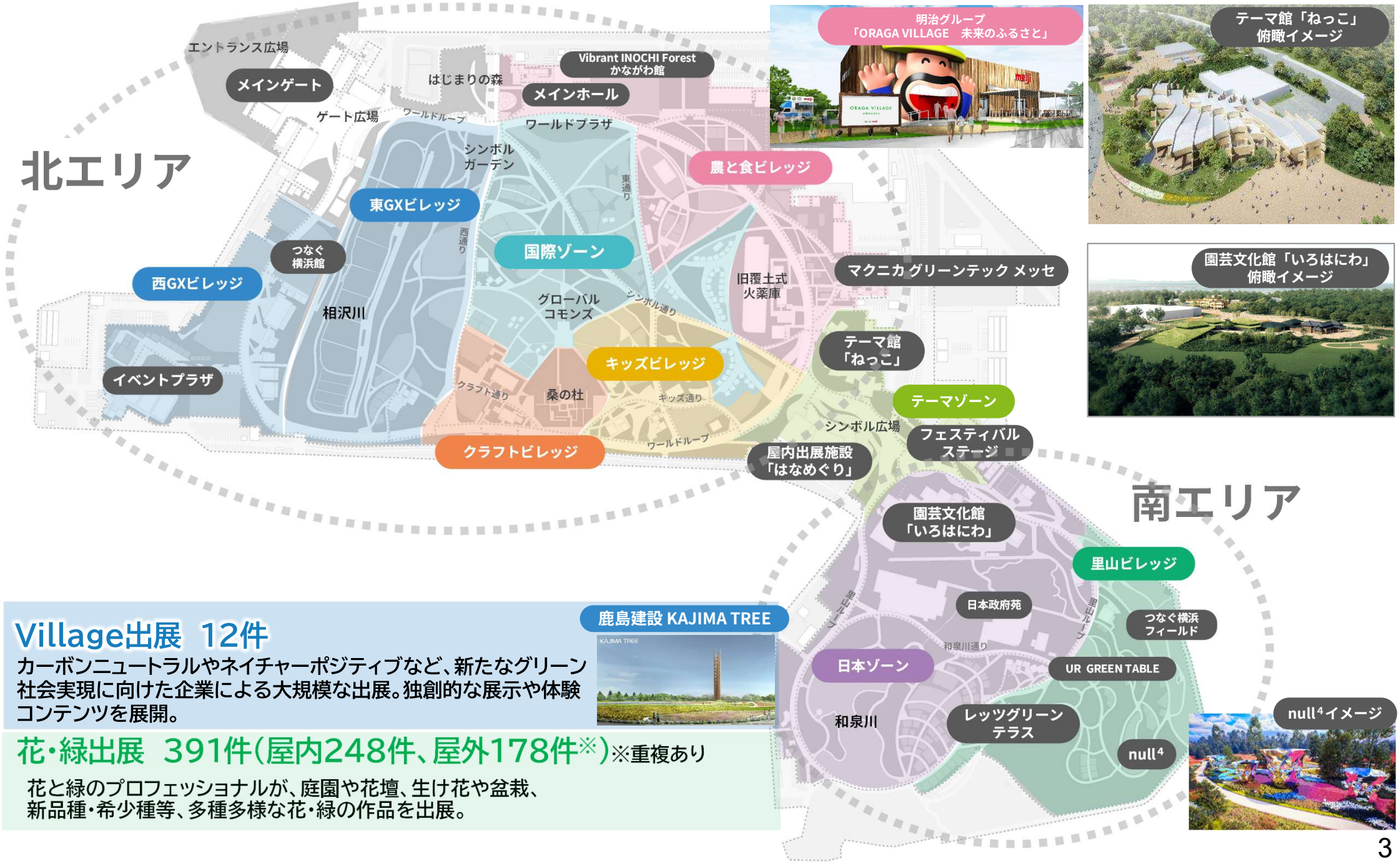
宇宙からきた精霊
地球がきれいだと花を咲かせて踊ります
地球が汚れると元気がなくなります



詳細はこちらから▶ 2027年国際園芸博覧会公式ホームページ

オフィシャルグッズ好評販売中 オンラインストア

会場計画



Village出展　12件

カーボンニュートラルやネイチャーポジティブなど、新たなグリーン社会実現に向けた企業による大規模な出展。独創的な展示や体験コンテンツを展開。

鹿島建設 KAJIMA TREE

花・緑出展　391件（屋内248件、屋外178件※）※重複あり

花と緑のプロフェッショナルが、庭園や花壇、生け花や盆栽、新品種・希少種等、多種多様な花・緑の作品を出展。

出展イメージ（日本政府苑／主催者展示／Village出展）

■日本政府苑（国土交通省・農林水産省による出展）




令和日本の庭

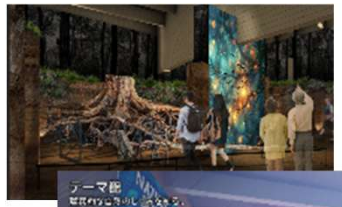

宮内庁所蔵の盆栽の展示

「日本の自然観を再考し、未来へ進む」というコンセプトの下、
・日本に受け継がれてきた自然観や、文化・芸術、里山の風景を表現
・日本で育まれた知恵が環境・社会課題の解決の糸口となることを提示

■主催者展示（グリーンエクスポ協会による出展）

テーマ館







「全ての生命はつながっている。植物を中心に」をテーマに、植物たちの知られざる能力と、生命同士の複雑で巧妙なつながりを「映像技術＆研究結果」×「アート＆エンターテイメント」の掛け算により、感動とともに届けていく。

園芸文化展示







江戸時代に発展した園芸文化を「知り・感じ・未来へとつなぐ」をコンセプトとした施設。江戸の植木屋・花屋敷の再現空間や日本と海外の園芸植物のつながりに関する映像シアター、伝統的園芸植物の生体展示など、日本の園芸文化を楽しみながら体感。

■Village出展（概要公表済のもの）

ＫＴグループ



必要な時に必要な場所へ「くるまたち」が「エネルギー」を運び、皆さまを笑顔にします。

NTT東日本 株式会社



NTT東日本は「産業・自然・文化」が調和し、幸せがめぐる“Well-being な社会”を体験型で表現いたします。

株式会社 大林組



大林グループが目指す「地球・社会・人」の調和した世界観を、是非体感しに来てください。

東邦レオ 株式会社



ノモの国を「STUDIO」として再生します。循環から生まれる新しい体験を感じてください。

鹿島建設 株式会社



「（仮称）KAJIMA TREE」。それは自然と人の明日の物語。大阪・関西万博の大屋根リングの木材※が、先端技術により新たな命を吹き込まれ、GREEN×EXPOのシンボルとして生まれ変わります。

竹中グループ



脱炭素、資源循環、自然共生を調和させ、地球の恵みを回復・再生し、創造性豊かに暮らす社会を目指します。

三菱国際園芸博覧会総合委員会



幸せな明日に向けて、「自然と人、社会との共生」の重要性を楽しみながら再確認して、みんなで取り組むきっかけに繋がるような展示を目指します！

住友林業 株式会社



1691年の創業以来、森や木、植物と歩んできた住友林業ならではの展示・体験を提供します。

横浜グリーンエクスポが目指す姿

○　横浜グリーンエクスポは、花や緑、エンターテインメント、グルメ等に加えて、日本らしい文化・ライフスタイルや、我が国の強みであるグリーン技術を発信し、みんなが「楽しめる万博」を目指す。

← 国際園芸博の主眼は園芸産業の発展から環境、福祉等に拡大。近年、環境を巡る国際的な潮流が変化。

これまでの国際園芸博覧会

花き・樹木・造園技術等を国際的に紹介・評価し、**園芸産業の発展を促進**

1948 国際園芸家協会(AIPH)設立
1990 大阪花博

＋

博覧会を契機としたまちづくり、社会課題への貢献

1993 IGA -都市と自然-
1999 昆明博-人間と自然-　など

＋

社会の健康と福祉、環境の向上を図るための植物利用の促進

2015 AIPH規則変更

環境を巡る国際的な潮流

●ＳＤＧｓ
・17目標を2030年までに達成

●カーボンニュートラル
・パリ協定2030年目標

●ネイチャーポジティブ
・自然の損失を2030年までに反転
・陸域/海域の30%を保全

●サーキュラーエコノミー
・循環経済関連ビジネス市場規模を80兆円以上(2030)

横浜グリーンエクスポが目指す姿

みんなが「楽しめる万博」へ

1000万株の圧倒的な花と緑、エンターテインメント、世界のグルメ、70程度の国・国際機関による国際色豊かな庭園・出展、16の企業パビリオン　等

横浜グリーンエクスポのテーマ：幸せを創る明日の風景







日本らしい文化やライフスタイルの発信



自然との共生、盆栽、生け花、伝統工芸、農、食文化 等

グリーン技術の産業見本市

企業等の最先端のグリーン技術の見本市として、国際レベルでのビジネスマッチングを図り、成長投資へつなげる



出典：完全密閉型植物工場技術「Culture Machine」（株）プランテックスHP

（参考）「骨太の方針」等における園芸博関連の記載

○　経済財政運営と改革の基本方針2026（令和８年７月21日閣議決定）（抄）

第２章　日本の成長力強化と安全・安心の確保

１．「強い経済」の実現

（３）強い地域経済の構築　（「地域未来戦略」の推進等）

（前略）**横浜グリーンエクスポの成功に、官民が緊密に連携したオールジャパン体制で万全を期すとともに、グリーン技術の産業見本市とする。その開催を契機とし、自然と共生し、持続可能な社会の日本モデルを提示する。**

○　日本成長戦略（令和８年７月21日閣議決定）（抄）

Ⅲ．８つの分野横断的な課題の解決

１．新技術立国・競争力強化

（２）対応の方向性　③講ずるべき施策パッケージ

ⅲ）新技術立国の実現とグローバル市場の獲得・経済安全保障の強化

ⅲ－２）グローバル市場の獲得・経済安全保障の強化

（グローバル市場の獲得）

（前略）**さらに、横浜グリーンエクスポを、グリーン技術の産業見本市とする。**（後略）

○第81回国連総会における高市内閣総理大臣による一般討論演説（令和８年９月22日）（抄）

（前略）今を生きる人々の命と未来を生きる人々の命を守るため、全ての国が、地球温暖化対策に真剣に取り組む必要があります。私は、気候変動対策と経済成長は両立できると信じています。日本はこれまで、グリーン鉄を始めとした生産・技術基盤の構築、世界最高効率のガス火力発電の活用、更には省エネ型データセンターの普及など、日本の技術力を生かし、２０５０年のネット・ゼロを目指して、グリーン・トランスフォーメーション（GX）の取組を進めています。（中略）

まさに来年、グリーン技術の産業見本市であり、持続可能な開発の在り方にも焦点を当てる２０２７年国際園芸博覧会を横浜で開催します。是非多くの方にお越しいただきたいと願っています。（後略）

○第222回国会における高市内閣総理大臣所信表明演説（令和８年10月５日）（抄）

（前略）**２０２７年国際園芸博覧会は、日本の魅力を世界に届ける絶好の機会です。花や緑、食と農の魅力はもちろんのこと、脱炭素など地球環境の課題解決に資する優れた国内技術も、世界に発信していきます。**（後略）

グリーンテックプロジェクトのコンセプト

・脱炭素・循環経済や生物多様性回復などのグリーンテックにより実現される**「未来のあるべき姿」**を**国内外に広く発信**することで、**我が国のグリーンテックに対する興味・関心、さらには将来にわたる需要拡大を期する。**

・特に、**「グリーンテック集中見本市」**は、**出展企業以外の幅広い企業からの技術の発信、ビジネスマッチング**のための場とする。

・これらによって、「日本成長戦略」に基づく**17の戦略分野**を中心に、我が国のグリーンテックに対する**持続的なニーズの拡大**、**産業競争力の強化**を図り、**「強い経済」の構築**を目指す。

グリーンテックによる「強い経済」の構築　～未来の暮らしを支えるグリーン産業の創出～

地球規模の環境課題

- カーボンニュートラル
  - 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡
- サーキュラーエコノミー
  - 資源を循環利用し、付加価値を最大化
- ネイチャーポジティブ
  - 生物多様性の損失を止め、反転

×

17の戦略分野
（主な関連分野）

- 航空・宇宙
- マテリアル
- 合成生物学・バイオ
- 資源・エネルギー安全保障・GX
- フュージョンエネルギー
- 防災・国土強靱化
- フードテック

→ 持続的なニーズの拡大
→ 産業競争力の強化

2040年度までに官民投資累計370兆円超への貢献

「強い経済」の構築

グリーンテックプロジェクトの概要

①開幕前の技術実演（デモ）

展示予定の優れたグリーン技術の中から、**総理表敬の際にデモンストレーション**。
出展が決まった環境**技術の概要**や経済効果等を**統一様式**で作成し、**リスト**を随時**更新**。

②パビリオン、展示等でのグリーンテック発信

グリーンテックについて、特長や効果等をとりまとめ、**一覧性**をもって**発信**。
来場者が**会場内を巡ってグリーンテックを楽しく周遊し、学べる仕組み**を導入。

○出展企業等の展示等



資材再利用率99%の
パビリオン(竹中工務店)



水素調理レストラン
（サントリー）

○各府省庁の展示・イベント



暑熱緩和効果のある草屋根
（日本政府苑）



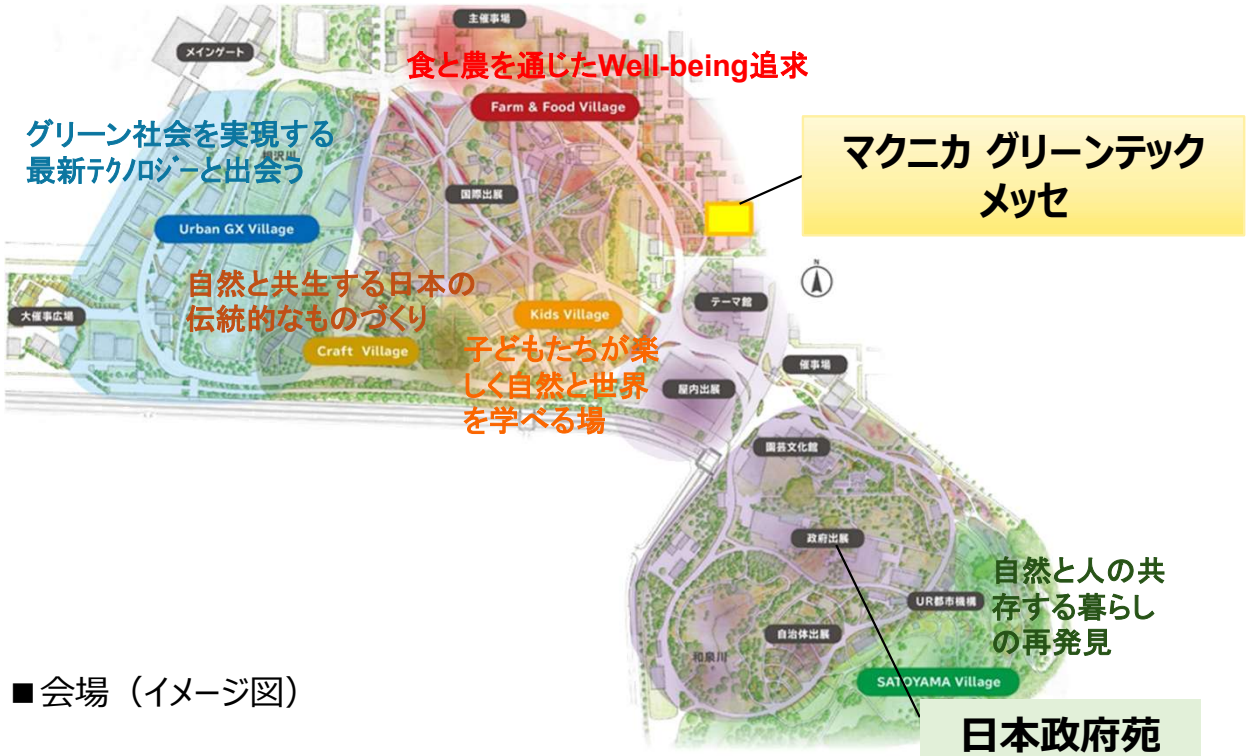
完全閉鎖型植物工場



水素week（仮称）
（ﾏｸﾆｶ ｸﾞﾘｰﾝﾃｯｸ ﾒｯｾ）



ｸﾞﾘｰﾝｲﾝﾌﾗ発見・体感ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
（仮称）（会場内）



■会場（イメージ図）

③集中見本市

7月中、ﾏｸﾆｶ ｸﾞﾘｰﾝﾃｯｸ ﾒｯｾにおいて、**集中見本市を開催。企業等から有望技術を公募**し、ブース出展、技術発表、ビジネスマッチング等の機会を提供。

3月 ～6月	各府省庁や協賛者による展示・イベント
7月	**集中見本市**  ブース出展イメージ  技術発表イメージ
8月 ～9月	各府省庁や協賛者による展示・イベント

【参考】グリーンエクスポ協会筒井会長らによる高市総理表敬（令和８年４月28日）

● ４月２８日（火）、グリーンエクスポ協会筒井会長らが、総理官邸において高市総理を表敬。

● 筒井会長から、高市総理に対し博覧会の名誉会長への御就任を要請し、総理は快諾。

【表敬者】

・筒井義信会長（GREEN×EXPO協会・経団連）　・蜷川実花さん（公式クリエイター）　・トゥンクトゥンク（公式マスコットキャラクター）

・日本政府苑「高校生未来咲きガーデンプロジェクト」参加高校（５校）からの代表者各２名 など

（木原官房長官、金子国交大臣、鈴木農水大臣 同席）

【発言要旨】

○筒井会長

- 協会として、日本企業が持つ最先端の**「グリーン技術」の展示にも一層力を入れる**。
- 今後、エクスポで展示することが見込まれる**有望なグリーン技術を何度か総理にも直接ご覧に入れたい**。
- **高市総理に、博覧会の名誉会長に御就任いただき、グリーン投資をはじめ、エクスポ全体の牽引役になっていただきたい**。

○高市総理

- **「みんなが楽しめる」万博**であると同時に、**「グリーン技術の産業見本市」**にしていきたい。
- 素晴らしい「グリーン技術の種」を発掘し、世界の舞台に押し上げていく機会にしたい。これが、**日本経済の成長のスイッチを押す一つの機会になる**。
- **名誉会長就任の要請は、謹んでお受けする**。

○蜷川実花さん

- 3年前に公式クリエイターに就任した。花の写真を使ったポスターや、その写真を使ったラッピングバスが横浜を走っている。1,000万株の花が植えられると聞き、何度も撮りに行きたいと思っている。私自身もいくつか作品を発表予定であり、楽しみにしていてほしい。

○高校生

- 企画検討中のガーデンの特色について各校代表者から発言。





【参考】グリーンテックプロジェクトに係る高市総理表敬・技術デモ（令和８年９月28日）

- ９月２８日（月）、グリーンエクスポ協会筒井会長らが、総理官邸において高市総理を表敬。
- グリーンテック集中見本市に出展予定３者による技術デモンストレーションを実施。

【表敬者】・筒井義信会長（GREEN×EXPO協会・経団連）　・玉倉 大次氏（㈱ピエクレックス　代表取締役社長）
・ウー　ラダー氏（国研 物質・材料研究機構　主任研究員、㈱Thermalytica 創業者兼CTO）
・山田　竜彦氏（国研 森林研究・整備機構　森林総合研究所　上席研究員、㈱木質素研究所　取締役CTO）
（木原官房長官、井林国交大臣、簗農水大臣 同席）

【発言要旨】

○筒井会長

- 去る４月に表敬した際、**総理から、横浜グリーンエクスポで「グリーン技術の種」を発掘し、世界の舞台に押し上げていく機会としたいとの力強いお言葉をいただいた**。骨太方針2026や日本成長戦略にも盛り込んでいただき、大変ありがたい。
- 会期中を通じてグリーン技術を体験できるパビリオンに加えて、**７月に「集中見本市」を開催すべく準備をしている。**
- 市場の創出・拡大の可能性を大きく秘め、日本成長戦略の実現にも貢献する最先端のグリーンテックを３つ選び、直接ご覧いただく。
- 国内にはまだまだ多くの有望なグリーンテックが眠っており、明日から、**幅広い企業を対象に、技術出展の公募を行う**。
- 官民連携して、**有望なグリーンテックを発掘し、きらりと光るものを厳選して、再度、総理に直接ご覧に入れたい。**

○高市総理

- 披露いただいた技術は、**様々な社会課題を解決する**と同時に、**価格競争力も期待できる技術**であり、**まさに成長の原動力となるもの。**
- 横浜グリーンエクスポが、みんなが楽しめる万博であると同時に、こういう**先端技術の産業見本市としても成功させたいと強く思っている。**
- また**キラリと光る技術を筒井会長に持ってきていただくのを楽しみにしている。**
- 成長につながるグリーン技術がこれから数多く披露されていくように願っており、政府としても後押しをしていきたい。






【参考】官邸におけるグリーンテックのSNS発信

※リポスト数等：10/5時点

首相官邸 @kantei · 9月28日

横浜グリーンエクスポ一行の表敬を受けました。ご説明のあった３つのグリーン技術はいずれも様々な社会課題を解決し、成長の原動力になり得るものでした。横浜グリーンエクスポにおいても、成長につながるグリーン技術が数多く披露されるよう、引き続き官民連携して取り組んでまいります。



171 399 3,366 8.2万

リポスト399、いいね3.4千、インプレッション8.2万

高市早苗 @takaichi_sanae

本日午後、開催まで半年を切った「横浜グリーンエクスポ」の開催に向けた機運を盛り上げるべく、（公社）2027年国際園芸博覧会協会の筒井義信会長と、「グリーンエクスポ」で展示予定の最先端の「グリーン技術」をお持ちの皆様が、官邸までお運び下さいました。

目の前で「“土に還る”公式ボランティア・スタッフユニフォーム」、「省エネと脱炭素を支える超断熱材素材」、「スギから生まれる高機能プラスチック代替素材」のデモンストレーションをしていただき、興味深く拝見しました。

ご披露いただいたそれぞれのグリーン技術は、アパレル産業の「大量生産、大量廃棄」の問題、「エネルギー効率化」や「水素社会の実現」、更には「経済安全保障」など、様々な社会課題を解決すると同時に、「価格競争力」も期待できる技術でした。

まさに、成長の原動力になり得るものとして感動しました。

横浜グリーンエクスポは、「みんなが楽しめる万博」であると同時に、我が国の優れたグリーン技術が披露される「産業見本市」でもあります。

我が国の成長につながる「グリーン技術」が数多く展示され、来場された皆様が、将来に「希望」が感じられる博覧会となるよう、官民一体の「オールジャパン体制」で取り組んでまいります。



18:12 · 2026年9月28日 · **29.7万** 再生数

379 955 8.4K 297K

リポスト879、いいね8.4千、インプレッション29.7万

高市早苗 @takaichi_sanae · 9月29日

昨日、「横浜グリーンエクスポ」の関係者の皆様が官邸にお越しになり、3つの最先端の「グリーン技術」をご披露頂いたことを報告しましたが、それぞれについて、詳しくご紹介いたします。

＜“土に還る”公式ボランティア・スタッフユニフォーム＞

1つ目は、「横浜グリーンエクスポ」の公式ボランティア・スタッフユニフォームに使用される、高機能でありながらも環境に良い「着るグリーンテック」です。

開発された（株）ピエクレックスの玉倉大次代表取締役社長に、実際にユニフォームを着用いただきながらご説明いただきました。

（略）

（株）ピエクレックスのリンク先： pieclex.com



185 788 6,823 23万

高市早苗 @takaichi_sanae · 9月29日

＜省エネと脱炭素を支える超断熱材素材＞

2つ目にご披露いただいたのは、新しい断熱技術「TIISA」（ティーサ）です。

国立研究開発法人物質・材料研究機構（NIMS）の主任研究員である、同機構発のベンチャー企業（株）Thermalyticaの創業者兼CTOのウー・ラダーさんからご説明いただきました。

（略）

実際に、「超断熱塗料」を手に塗って、バーナーで火をあてる動画も拝見し、断熱・遮炎の効果を目の当たりにすることができました。

（略）

省エネルギーだけでなく、災害や厳しい環境の下で暮らす人々の命を守る技術として大いに期待しております。

（株）Thermalytica のリンク先： thermalytica.com/ja



182 1,040 7,660 24万

高市早苗 @takaichi_sanae · 9月29日

＜スギから生まれる高機能プラスチック代替素材＞

3つ目は、「改質リグニン」という「スギ」を原料にした世界で初めての新素材です。

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所の上席研究員でもある、（株）木質素研究所（リグニンラボ）の山田竜彦取締役CTOからご説明いただきました。

（略）

「改質リグニン」は、強度や加工性に優れ、半導体材料や繊維強化プラスチックなどの石油由来の材料を超える、「高機能材料」としての利用が期待されています。

（略）

この技術もまた、「エネルギー効率化」といった社会課題を解決すると同時に、「価格競争力」も期待できる技術であり、成長の「原動力」になり得ると感じました。

（株）木質素研究所（リグニンラボ）のリンク先：lignin-lab.jp



485 2,767 1.8万 44万

【参考】総理表敬で披露したグリーンテック（令和８年９月28日）

①石油由来のポリエステルを代替する有機バイオ繊維によって、**アパレル産業の大量生産・大量廃棄**という社会課題を解決し、**サステナブルに革新**するシステム

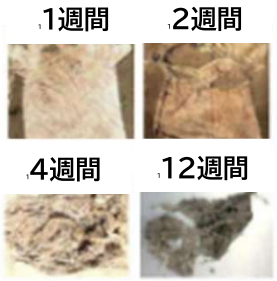
②超断熱・軽量性を兼ね備えた世界初の素材によって、幅広い分野で遮熱、省エネ効率向上、熱損失の削減を図り、**「地球沸騰化」の課題解決の切り札**になるシステム

③国際情勢に左右される**ナフサ由来のプラスチックを減らし、国産スギで代替、経済安全保障、林業再生**といった社会課題に寄与する革新素材

戦略17分野：**合成生物学・バイオ**

“土に還る”公式スタッフユニフォーム





（出典：村田製作所HP）

会社名　株式会社ピエクレックス（滋賀県）※村田製作所の子会社

戦略17分野：**マテリアル/GX**

TIISA®超断熱材技術



液化水素の運搬・貯蔵



屋根、壁等の超断熱塗料



宇宙船の熱防護材

会社名　株式会社Thermalytica（サーマリティカ）（茨城県）
※国立研究開発法人 物質・材料研究機構発ベンチャー

戦略17分野：**合成生物学・バイオ**

スギから生まれた高機能プラスチック代替素材



ボンネット

幅広い先端材料に活用可能



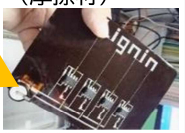
鉄道用ブレーキシュー（摩擦材）



ステアリング



改質リグニン



電子基板

研究機関名　国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所

概要

サーキュラーエコノミー　カーボンニュートラル

○トウモロコシ由来のバイオ繊維を使用し、人の動きで微弱な電気を発生させ、化学薬品を使わずとも、**抗菌効果のある衣類**を世界初開発

○生産だけでなく、使用済衣料を回収・堆肥化して次の植物を栽培するまでの**資源循環サイクル**を複数企業で推進

⇒会場スタッフ1.5万人分のユニフォームを提供

市場性

○アパレル世界市場約300兆円、国内市場10兆円

概要

カーボンニュートラル

○従来の断熱材にない**超断熱・軽量・遮炎性を兼ね備えた世界初の材料TIISA®**は、熱損失を大幅に削減できる

○一般（住宅・建築分野）から先端産業（データセンター等）、**液体水素**の輸送・貯蔵、**航空・宇宙分野**まで幅広く応用可

○エネルギー不足の**ウクライナ**で医療施設への導入により、**冬季の室内外温度差を＋6.6℃改善**

市場性

○世界のGX・省エネ関連市場は120兆円規模



技術概要

サーキュラーエコノミー

○**国産スギを原料にした**高機能プラスチック材料の代替素材

○**ナフサ由来材料よりも高強度、軽量化**を実現し、付加価値の高い様々な製品への活用や**プラスチック使用量の抑制が可能**

市場性

○世界の高機能プラスチック市場は20兆円規模であり、この一部を代替していく可能性あり

グリーンテック集中見本市　概要

開催概要（予定）

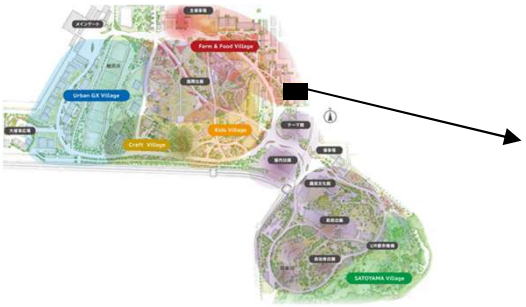
会期：令和９年６月30日（水）～７月27日（火）10:00～17:00

※会期を原則４日毎の展示クールに区分し、展示内容の入れ替えを予定

会場：横浜グリーンエクスポ会場内　マクニカ グリーンテック メッセ

主催：国土交通省・農林水産省

共催：内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局、総務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省、（公社）2027年国際園芸博覧会協会、（一社）日本経済団体連合会、（公社）経済同友会、経団連自然保護協議会、（一社）スタートアップエコシステム協会、（一社）スタートアップスタジオ協会、（一社）インパクトスタートアップ協会、（一社）スタートアップ協会、日本経済新聞社
※今後変更がある場合、随時HP上に掲載します。



会場全体図



マクニカ グリーンテック メッセ



ブースイメージ

「グリーンテックプロジェクト集中見本市」 公募要領概要

■募集内容

・カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの実現と、日本成長戦略による官民投資の拡大に寄与する優れた技術、製品、サービスその他の取組の展示

※実証段階から社会実装初期段階にあるものを優先して選定する

※展示内容は、技術のデモンストレーション、模型、映像等を含むものとし、パネル、ポスター等の掲示のみで構成される展示は対象外とする。

■対象団体

・民間企業、スタートアップ、大学、研究機関等

※同一主体による複数応募及び複数主体による共同応募も可能。

■スケジュール（想定）

・事前周知　令和８年９月18日【済】
・**募集**　**令和８年９月29日～11月13日**
・審査　令和８年11月中旬～12月下旬
・選定・公表　令和８年12月下旬
・調整・PR　令和９年１～６月
・展示　令和９年７月

■出展者の費用負担

・出展料あり（20万円/小間）
・展示制作費、搬出入費等は出展者負担

■審査の方法

有識者による書類審査

■審査の観点

・先進性・新規性：既存の取組と比較して優位性や独自性があるか。（先進的な技術だけでなく、既存技術の組み合わせに独自性がある場合も含む）

・技術的実現可能性：技術として実用化に向けた見通しが立っているか。

・社会課題解決への貢献性：社会課題（カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブ等）の解決に寄与する可能性があるか。

・社会実装の展望：想定される用途やニーズが明確で、将来的な社会実装が期待できるか。また、実証段階から社会実装初期段階にある取組であるか。今後、市場創出・拡大が期待される取組であるか。将来的に、既存技術との比較において、価格競争力がありうるか。

・テーマとの整合性：横浜グリーンエクスポのテーマ・サブテーマに合致しているか。

・17の戦略分野との関連性：日本成長戦略の17の戦略分野（主な関連分野：航空・宇宙、マテリアル、合成生物学・バイオ、資源・エネルギー安全保障・GX、フュージョンエネルギー、防災・国土強靭化、フードテック）と関連するか。

・展示内容の魅力・発信力：取組の内容、社会的意義等を一般来場者にも分かりやすく効果的に発信できるものとなっているか。

※公募要領、申請様式等の詳細は、下記をご参照ください。https://www.mlit.go.jp/toshi/park/greentech.html

出展メリット

①技術を世界へ発信する

横浜グリーンエクスポという国内外から多くの来場者が集まる場※を活用して発信できます。国による情報発信を通じて、技術の認知度・ブランド力の向上が期待できます。※エクスポの会期中（R9.3.19～9.26）に有料来場者数1,000万人以上（想定）



国内外の認知向上



ブランド力の向上

②客観的な評価で技術の信頼を高める

技術の先進性や社会実装の展望等を有識者が審査し、グリーン社会の実現に貢献する技術として選定されることで、信頼性の向上が期待できます。



有識者審査



技術の信頼性向上

③技術の魅力を直接伝える

実機展示のほか、試食・試飲を活用した体験展示など、技術の特長や価値を来場者に直接体感してもらう展示が可能です。



見て触れて体験できる



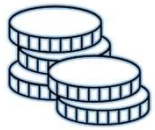
試食試飲で魅力体感

④プロトタイプを社会実装へつなげる

企業、自治体、研究機関、投資家等とのビジネスマッチングが促進され、技術導入、共同研究、事業提携、資金調達など、プロトタイプの社会実装につながる機会が期待できます。

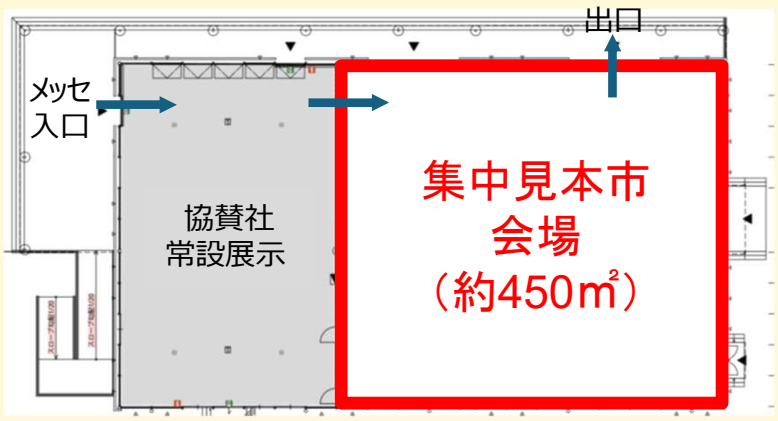


企業・自治体等とマッチング

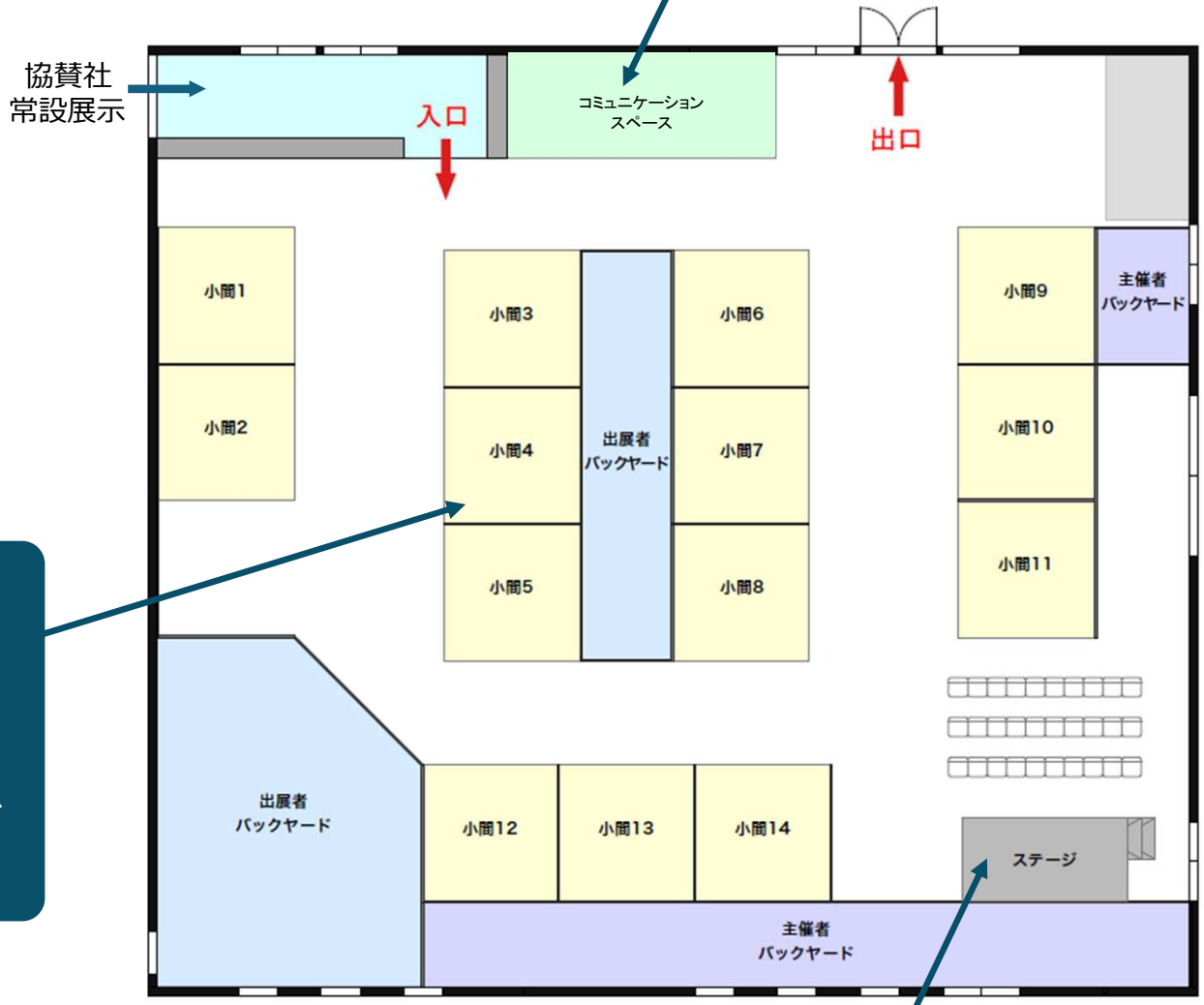


資金調達の機会

【参考】会場平面図イメージ



③コミュニケーションスペース
展示だけでなく、その場で意見交換等が可能。



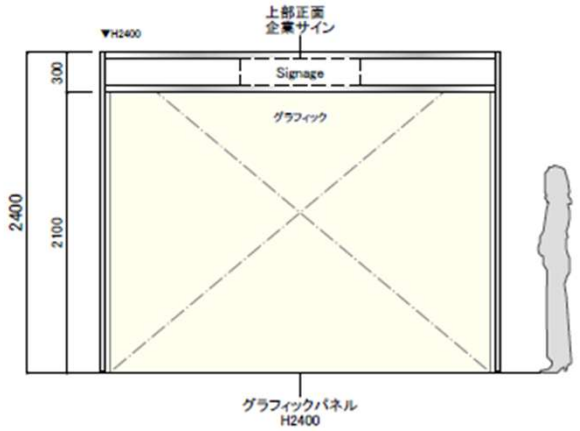
①ブース出展
最先端のグリーンテックが集結。
多様な来場者に向けて技術の魅力を発信。

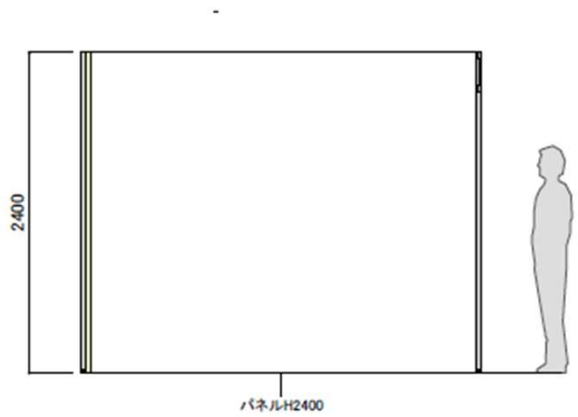
※展示期間は、４日間を１クール（搬入出を含む）とし、計７クールを予定。
※展示スペースは、延べ100小間程度を予定。

②ステージ
技術や取組を直接アピールできる発表ステージを設置。

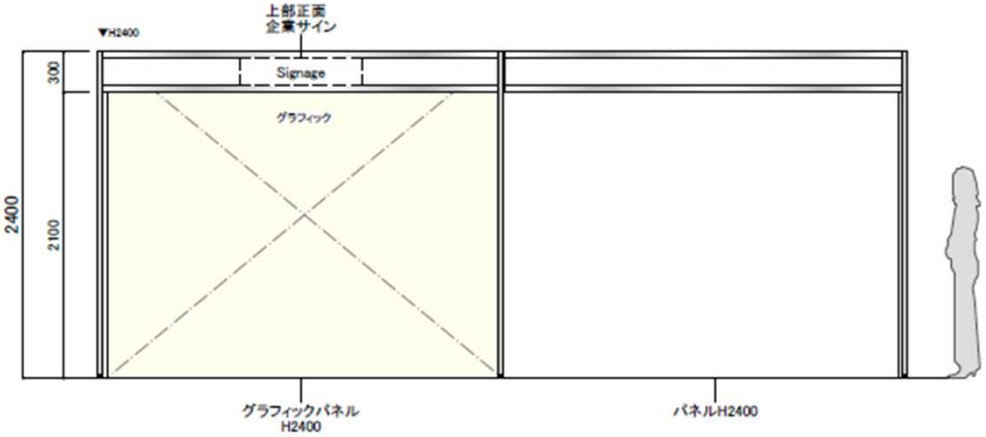
【参考】ブース立面図イメージ

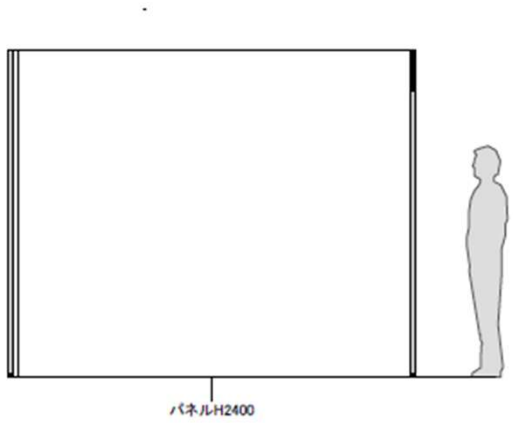
1小間



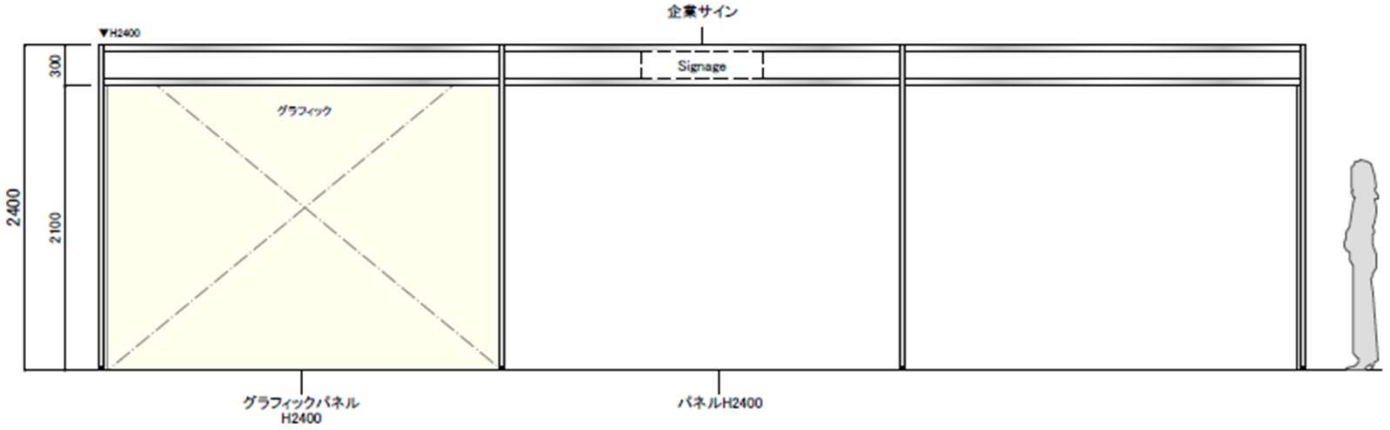


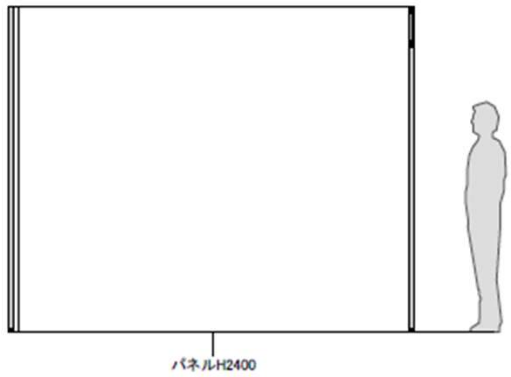
2小間





3小間





【参考】出展条件（費用負担、運営要件）

＜展示に係る費用負担＞

○ 出展料の他、展示物の制作、現地への資材の持ち込み・配置・撤去、展示に伴う人員配置など、**展示に係る諸経費は原則出展者の負担**とします（出展予定者に対してはサプライヤーリストを提供させていただきます）。

○ **電気は標準提供の範囲内に限り無償とし（１小間当たり1kWまで）**、これを超える使用又は追加設備・工事等に要する費用は出展者の負担とします。

○ 別途、調整・検討中のメディアとタイアップした関連企画等については、出展者の希望を踏まえ、希望者にご負担いただくことにより実施することがあります。

＜展示運営に係る主な要件＞

○ 国内外からの来場者へ情報発信するため、展示物については、**日本語と英語の二言語表記**が必要です（完全な対訳である必要はありませんが、少なくとも概要は英語表記とする必要があります）。

○ 展示期間中は展示内容の説明を行う**人員の配置を必須**とします。なお、人員については、日本語による対応を基本とし、英語対応は任意とします。

○ 展示スペースは、原則として**１小間（幅約３m、奥行き約３m、高さ約２．４m）**に収まるものとします（高さ約２．４mを超える場合は要協議）。ただし、展示物の内容・規模等により必要と認められる場合は、原則として連続する２小間又は３小間の使用を認めることがあります。会場平面図及びブース立面図イメージは、別紙のとおりです。

○ 展示物の展示及び実演に伴う動作範囲は、割り当てられた展示スペース内に収まるものとします。また、搬入口は幅約３．３m、高さ約２．７mを予定しているため、展示計画に当たって考慮してください。

○ 展示物等の設置に当たっては、施設の床耐荷重（1㎡当たり350kg）を超えないものとし、重量物については必要に応じて荷重分散措置を講じてください。

○ 床面・壁面へのアンカー打設はできないため、展示物・施工物は、自立式とするなど、施設を損傷しない方法で設置してください。

○ 展示期間は、**原則１クール（原則４日間、搬出入を含む）**とします。ただし、展示物の内容・規模等により必要と認められる場合は、連続する複数クールの使用を認めることがあります。

○ 展示スペース及び展示期間については、それぞれ**連続する複数応募時に希望を受け付けますが**、応募状況、展示構成その他運営上の都合により、事務局において最終的に決定するものとし、**希望に沿えない場合があります**。

○ 出展者は、会場内に設置する**ステージを活用した技術発表等を実施することができます**。詳細は、出展者に対して別途ご案内します。

○ ドローン、刀剣類などの危険物、スモークマシンなどの特殊効果機材、動物、火気類、バルーンは使用できません。

○ その他展示に際しては、本公募要領のほか、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が定める催事施設利用ガイド、その他事務局より出展者へ提供するガイドライン（仮称）等に従ってください。なお、これらの規則等は今後追加変更される場合があります。

○ １つの展示ブースで、関連する複数の技術、製品、サービスその他の取組を展示することは可能です。その場合、企画提案書（様式２）における技術の概要については、代表となる技術、製品、サービスその他の取組１件を選定の上、その内容を記載してください。

（様式２）

- グレー文字は記載例・注意事項です。提出時には削除してください。
- 合計６ページ以内に収まるように作成してください。

※１つの展示ブースで、関連する複数の技術、製品、サービスその他の取組を展示することは可能です。
（１）～（５）については、代表となる技術、製品、サービスその他の取組１件を選定の上、その内容を記載してください。
なお、（６）～（８）については、展示ブース全体に関する内容を記載してください。

（１）技術名称	
（２）解決を目指す社会課題	※本技術が解決を目指す社会課題を選択してください。該当する項目は□を■にしてください（複数選択可）。 □カーボンニュートラル　□サーキュラーエコノミー　□ネイチャーポジティブ
（３）技術概要（300字程度）	※技術のアピールポイントを分かりやすく記載してください。
（４）技術イメージ	技術内容イメージ画像、図等　技術内容イメージ画像、図等

（様式２）

- グレー文字は記載例・注意事項です。提出時には削除してください。
- 合計６ページ以内に収まるように作成してください。

（５）技術の詳細説明	① 先進性・新規性（100字程度）	※既存技術と比較した際の優位性、独自性等を記載してください。
	② 技術的実現可能性（100字程度）	※実証実績、実用化の見通し等を記載してください。
	③ 社会課題解決への貢献性（100字程度）	※どのような社会課題に対し、どのように貢献するか記載してください。
	④ 社会実装の展望（100字程度）	※技術フェーズ（実証段階から社会実装初期段階）、今後想定される導入先・用途など社会実装の見通しや、2030年・2040年における想定される市場規模（ドル建ての場合は1ドル＝150円で換算円換算）について記載してください。
	⑤ テーマとの整合性（100字程度）	※GREEN×EXPO 2027のテーマ「幸せを創る明日の風景」及びサブテーマ「自然との調和」「緑や農による共存」「新産業の創出」「連携による解決」との関係を記載してください。 ※参考：https://expo2027yokohama.or.jp/about/overview/
	⑥ 17の戦略分野との関連性（各50字程度）	※関連する戦略分野の□を■にし、当該分野との関連性について記載してください（複数選択可）。 ※参考：https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/nipponseichosenryaku/index.html □ 航空・宇宙　(理由)・・・ □ マテリアル　(理由)・・・ □ 合成生物学・バイオ　(理由)・・・ □ 資源・エネルギー安全保障・GX　(理由)・・・ □ フュージョンエネルギー　(理由)・・・ □ 防災・国土強靭化　(理由)・・・ □ フードテック　(理由)・・・ □ その他（　　）　(理由)・・・
	⑦ 展示内容の魅力・発信力（100字程度）	※展示手法、一般来場者にも分かりやすく伝えるための工夫等を記載してください。

（様式２）

- グレー文字は記載例・注意事項です。提出時には削除してください。
- 合計６ページ以内に収まるように作成してください。

（６）展示名称	
（７）展示内容の概要 （100字程度）	※来場者に展示する内容・展示方法（模型、映像等）を記載してください。
（８）展示イメージ	展示内容イメージ画像、図等　　展示内容イメージ画像、図等

（様式２）

- グレー文字は記載例・注意事項です。提出時には削除してください。
- 合計６ページ以内に収まるように作成してください。

（その他参考情報があれば使用してください。
その際、文字サイズは11pt以上としてください。）

問い合わせ先

■公募に関するご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。

＜質問及び応募書類の提出先＞

グリーンテック集中見本市事務局（国土交通省・業務受託者（株式会社電通））
E-mail: hqt-greentech@gxb.mlit.go.jp

＜お問合せ先＞

国土交通省２０２７年国際園芸博覧会開催準備室
電話 :03-5253-8111（内線33334）
農林水産省農産局園芸作物課GREEN×EXPO 2027担当室
電話 :03-3502-8111（内線4827）